

日本都市計画学会九州支部第2回幹事会議事録

文責 黒瀬

日時：2003年7月1日 15:30～17:20

出席者：両角、本間、村田、橋本、梶田、松永、許斐、日高、中村、有馬、坂井、黒瀬

資料：

資料 日本都市計画学会九州支部第2回幹事会議事予定、平成15年度九州支部事業方針・予算

資料 第36回総会（5/16）、第2回理事会（5/16）、第3回理事会の報告

資料 学会年間スケジュール

資料 日本都市計画学会基本理念・目標・倫理綱領・行動規範

議題1：総会および理事会報告（両角支部長）

- ・ 両角支部長より第36回総会（5/16）、第2回理事会（5/16）、第3回理事会の報告が資料、に基づいて行われた（資料参照）。
- ・ 九州支部の支部ニュースを本部に送って欲しいという要請があった（両角）。
- ・ 以前は支部長が持参したりしていた（梶田）。
- ・ 支部のHPが動いていないとの指摘があった（梶田）。
- ・ OSの問題と思われるので熊大の方で確認しておく（両角）。
- ・ 「都市計画」2004年4月からは支部の頁ができることについて有馬幹事から「支部が担当するのか」という質問があった。
- ・ 編集委員長欠席ではっきりしなかったが、支部の欄ができ、支部が交替で編集を担当するスペースができるような説明が大西専務理事代行からあった。（両角）。
- ・ 建設系継続教育連絡協議会設立の意図はなにか（黒瀬）。
- ・ 資格の更新などを前提に各学会が連携して再教育サービスの実施体制をつくるということではないか（両角）。

議題2：支部ニュースについて

- ・ 黒瀬幹事長より、資料に基づいて今年度の事業予定、予算について説明があった。シンポジウムについては1)防災まちづくり研究会シンポジウムが4/25に終了したこと、平成16年1月にアジア都市研究会が予定されていることが報告された。
- ・ 九州支部10周年記念事業出版物は梶田、柿本幹事を中心に行うことが確認された。
- ・ 梶田幹事より支部行事を中心に原稿を用意していること、50部程度の出版であることが報告された。
- ・ 両角支部長よりの提案で部数を増やすか、支部ニュースで概要だけでも会員に知らせることを検討することとなった。
- ・ 支部ニュースについて第1号はすでに佐賀県の報告を三島幹事に依頼しており、7月上

旬原稿仕上がり、7月下旬発行の予定であることが報告された。

- ・ 支部ニュース第2号は長崎県の報告を10月上旬原稿仕上がり、下旬発行予定で村田幹事に検討してもらうこととなった。
- ・ 支部ニュース第3号以降は、研究会報告とし、第3号は1月上旬原稿仕上がり、下旬発行予定で、堤幹事に、第4号は3月上旬原稿仕上がり、下旬発行予定で、吉武幹事をお願いすることとなった。

議題3：本年度の活動について

- ・ 黒瀬幹事長より来年度に向けての企画立案についてシンポジウムあるいは資料発行などを行いたい旨、発言があり、フリーにディスカッションを行った。
- ・ 開かれた学会という方針から、シンポジウムの方が考えやすい(両角)
- ・ PI方式が問題になってきているが、なかなか企業ベースに乗らない(中村)
- ・ 提案制度という面から中央でも話題になっている(両角)
- ・ しかし、枠組みだけではあまり面白みがない(橋本)
- ・ 市町村合併も問題である(本間)
- ・ 九州のビジョンという観点から学術研究都市などもある(坂井)
- ・ 各県の特区構想とその動向というのもおもしろい(許斐)
- ・ 九州のビジョンと特区というような話であればおもしろいのではないか(両角)
- ・ 以上のような内容について今後、継続審議していくことになった。

議題4：その他

- ・ 黒瀬幹事長より樗木先生のお祝いについてどのようなことが考えられるか問いかけがあった。
- ・ 研究室サイドで行う予定である(梶田)
- ・ 樗木先生に何か話しをしてもらうというような企画でどうか(両角)
- ・ 上記の方針をふまえて次回の幹事会でつめることになった。
- ・ キャンパス計画研究会の坂井幹事より建築学会のキャンパス委員会との共同研究合宿(6月27日~29日)に都市計画学会の研究会からも有馬、黒瀬、坂井、鶴崎が参加したことが報告され、都市計画学会の研究会としても認知することが確認された。
- ・ 次回日程として8月29日(金)16:00~または、9月16日(火)15:30~のどちらかとする事とし、後日、連絡することとなった。